

項目	対象			施策・事業等	内容
	家庭	事業者	自治体		
(1) 建築物の脱炭素化の促進	○	○	○	ZEH・ZEB(ネットゼロエネルギーハウス・ビル)化の促進	ZEH・ZEB化:使用するエネルギーと再生可能エネルギーなどで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費する一次エネルギーの量を実質的にゼロ以下にすること
	○	○	○	既存建築物の省エネ改修、省エネ機器の導入促進	窓・外壁等の断熱化等により、エネルギー消費削減を促進
	○	○	○	EMS(エネルギーマネジメントシステム)の導入促進	EMS:エネルギー使用の「見える化」や自動制御が可能 電力消費の少ない時間帯にバッテリーを充電し、多い時間帯にバッテリーを使用するなどといったピークシフトを行うことで効果的な節電を実現
	○			V2H(ビーグルtoホーム)の普及促進	住宅から自動車への充電だけでなく、自動車から住宅への給電により家庭での電力使用が可能
			○	大規模開発における脱炭素型まちづくりの推進	再開発の機会を捉えて、脱炭素に資する都市・地域構造及び社会経済システムの形成
	○	○	○	木造建築の一般化による都市の森の実現	山林から伐採した成熟木で建物をつくり、都市にCO2を大量に貯蔵 伐採した後には、植林・再造林をして成長期にCO2を吸収
		○		中小企業等における省エネ設備等の導入促進	省エネルギー設備や再生可能エネルギー利用設備を市内事業者へ導入する中小規模事業者に対し、導入費用の一部を補助
		○		省エネアドバイザー派遣	省エネに関する専門家が事業所を訪問し、効果的な省エネ対策について助言
		○	○	地域冷暖房システムの導入促進	地域冷暖房:地域内の建物群に熱供給設備から、冷水・温水・蒸気などの熱媒を地域導管を通して供給し、冷暖房・給湯などを行うシステム
		○	○	コージェネレーションシステムの導入促進	コージェネレーション:天然ガス、石油などを燃料として、エンジン、タービン等の方式により発電し、廃熱を熱源、冷暖房、給油などに利用するシステム
	○		暖房、給湯、厨房の電化	ヒートポンプ空調機、ヒートポンプ給湯器、IH調理器などによる電化	
(2) 移動手段の脱炭素化の促進	○	○		EV(電気自動車)・FCV(燃料電池自動車)の普及促進	走行中にCO2を排出しないEVやFCVの普及を促進
	○	○		エコドライブの普及促進	エコドライブ:急加速・急ブレーキを少なくするなどして、二酸化炭素(CO ₂)の排出量や、燃料の消費量を減らすことを意識した運転
	○	○	○	カーシェアリングの普及促進	一台の自動車を複数の人が共同で利用 自動車の絶対数の削減につながり、CO2排出が低減
			○	歩行者・自転車にやさしいまちづくりの推進	
			○	公共交通を基幹とした交通基盤の整備	
			○	ゼロカーボンドライブ(再生可能エネルギー×EV等)の推進	再生可能エネルギーを使って発電した電力とEV(電気自動車)、PHEV(プラグインハイブリッド車)、FCV(燃料電池自動車)を活用した、走行時の排出量がゼロのドライブ
			○	充電インフラの整備推進	急速・普通充電器の設置設置により、電気自動車の普及に貢献
	○	○	○	乗用車・バス・タクシー・トラックなど車両のZEV化	ZEV:EV(電気自動車)、PHEV(プラグインハイブリッド)、FCV(車燃料電池車)
		○	公用車のZEV化		
(3) 再生可能エネルギーの導入拡大	○	○		再生可能エネルギーの共同調達の推進	自治体等が希望者を募って共同で電力を購入し、参加者が多く集まることで購買力が高まり、お得な電気代で利用できる仕組み
	○			家庭・業務・産業用燃料電池の普及促進	燃料電池:オフィスビルや家庭などの電気、熱の供給源として活用
	○			PPA活用等による再生可能エネルギーの導入拡大	PPA:初期投資ゼロでの再生可能エネルギー設備の導入手法
	○	○		住宅・事業所などへの太陽光発電設備の導入促進	
	○	○		地中熱利用(地球熱ヒートポンプ等)の促進	地中熱利用:地中の温度が一定であることを利用し、冷暖房や給湯などに使用すること
			○	公共施設への再生可能エネルギー設備などの導入	CO2削減とともに、自然災害などによる停電が起きた場合の非常用電源活用等
			○	市外からの再生可能エネルギーの供給	エネルギーポテンシャルに乏しい都市にポテンシャルの高い地方からエネルギーを供給
		○	エネルギーの地産地消の推進(公共施設における廃棄物発電の活用)	ごみを有効利用した電力であり、地域の生活とのつながりが深い特徴を持つ廃棄物発電の活用	
その他			○	他自治体と連携したカーボン・オフセットの実施事業	カーボン・オフセット:他自治体等と連携し、吸収源の確保などを行うこと
			○	「ブルーカーボン」創出事業	ブルーカーボン:沿岸域の藻場等に生息する海洋植物にCO2として取り込まれた炭素
			○	水素エネルギー利用環境の整備促進	地域特性を踏まえた水素エネルギー利用環境について検討し、水素エネルギーの普及促進
			○	マイクログリッド事業	エネルギー供給源と消費施設を一定の範囲でまとめて、エネルギーを地産地消する仕組み エネルギーの供給には、太陽光や風力といった再生可能エネルギーなどの分散型電源を利用
			○	VPP事業	発電設備や蓄電設備を制御することで、1つの発電所として機能すること